

ESGへの取組み

国際社会の貧困・飢餓や紛争、環境破壊や災害など世界で起きているさまざまな課題に対して、「誰一人取り残さない社会」の実現のため持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて取り組む市民団体・非営利団体を支援することは、JICS の ESG の取組みの一つと位置付けています。



2022年度採択団体 活動報告の紹介

JICSが支援したNGO・NPO団体の事業を紹介します。

※SDGsアイコンは、スペースの関係から主となるアイコンを掲載しています。

特定非営利活動法人 Little Bees International

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-40-22

Email: littlebees@littlebeesinternational.org HP: <https://www.littlebeesinternational.org/>



実施プロジェクト名 連携構築によるコロゴッチョスラムの子どもたちの教育・健康支援事業（2年目）

対象国 ケニア共和国

プロジェクト概要

コロゴッチョスラムの学校6校の連携により、子供たちが取り残されことなく、健康で安心な生活環境の中で質の高い教育を享受できる体制を他団体と協働で構築する。

SDGsに向けての今後の活動

すべての子どもたちが置き去りにされことなく質の高い教育にアクセスできるよう、引き続き支援活動に邁進してまいります。インフレによる物価高のため大変な社会経済状況にありますが、現地の農作物を扱う邦人の方たちによるご協力もあり、栄養価の高い有機農法による食材を安価でご提供いただくことで、子どもたちも日々、たくさん食べてよく学びよく遊び学校生活を元気に過ごしてくれています。SDGsの達成に向けて今後も頑張っ参ります。

プロジェクト内容と成果

コロゴッチョスラムの6校のコミュニティスクールの横のつながりを強化することで、子どもたちの教育のセーフティネットの創出を目指した活動になります。教科書の配布や給食でのオーガニック食品の提供を通じた食育活動、教育の質をあげるための泊まり込みでの6校の合同での教員研修、心のケアのためのコンサルテーション、HIVを含め子どもたちの感染症予防対策や保健クラブ活動、進学した子どもたちの奨学支援等を通じて、コロゴッチョの教育環境は確実に向上しています。



特定非営利活動法人 アジア・コミュニティ・センター21(ACC21)

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館1F

Email: info@acc21.org HP: <https://acc21.org/>



実施プロジェクト名 フィリピンの路上で暮らす若者の自立支援プロジェクト ～Project Bamboo～

対象国 フィリピン共和国

プロジェクト概要

フィリピンの路上で暮らす若者が路上生活を抜け出し、自立できるよう、就職・起業に必要な職業技術や知識等を身に付けるための研修を提供し、必要なサポートを行う。

SDGsに向けての今後の活動

引き続き、年間約30人の若者を対象に、起業・就職に必要な技術・知識を学ぶ研修を提供するとともに、若者起業グループの拡大と活動の充実化に取り組むことで、路上で暮らす若者が収入を増やし、自立できるよう支援する。若者を支援することで、若者の家族（子ども、親、きょうだいなど）の生活も向上することが期待され、若者やその家族が路上（極度の貧困状態）から抜け出せるよう支援することは、SDGsの目標1「貧困をなくそう」に寄与するとともに、その基本理念「誰一人取り残さない」に貢献するものである。

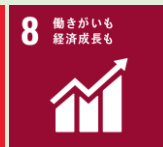
プロジェクト内容と成果

半年間の研修を路上の若者30名が修了し、就職や自営業で収入を得るために必要な技術・知識を学ぶとともに、目標に向かって努力する姿勢、努力すれば成功できるという自信などを身につけた。また、修了生のうち17名が、公的に認められた能力基準「国家資格Ⅱ類」の試験に合格した。さらに、過去に研修を受け修了した若者のうち自営で生計活動を行う（または起業を志す）若者のグループ「若者起業グループ」の組織化と相互学習の推進に取り組み、20名のメンバーがビジネス運営についての知識や能力を高め、サポートや助言を受けた。



特定非営利活動法人 Colorbath

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐2-28-29 M-BASE 2
Email: info@color-bath.jp HP: https://color-bath.jp/



実施プロジェクト名 ネパール山岳部のコーヒー生産者組合強化を通したコミュニティ経済力向上事業

対象国 ネパール

プロジェクト概要

ネパール山岳部における自給自足で暮らす住民に対して、地の利を生かしたコーヒー生産の技術指導、組合運営強化、品質管理のリーダー人材の育成を行い、住民の安定的な収入向上を目指す。

プロジェクト内容と成果

今年度は、スペシャルティコーヒーとしての品質維持と農家さん同士の連携強化をテーマに活動を行った。品質の維持では、コーヒーチェリーの収穫から精製、輸出までの各過程での担当者や基準を設けて、品質の維持管理をできる体制を整えることができた。農家さん同士の連携体制の強化に関しては、基本的にリーダーとのコミュニケーションにシフトし、リーダーから各農家さんへと情報が伝達されるような体制を強化した。結果として、コミュニケーションコストも抑えられ、また品質の維持という観点でも、管理コストを減らすことができた。

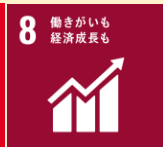
SDGsに向けての今後の活動

NGO支援事業では、プロジェクト初期の支援要素が強い段階で、後押しをいただき、これまで約5年にわたって活動を継続することができた。コーヒー生産事業を始める初期段階では、苗の支援や専門家による指導、モニタリングにかかる費用など、一定程度投資を行う必要がある。これらの支出を支援事業によってご支援いただけたことで、支援だけでは終わらない事業化に向けた基盤整備を行うことができ、他の生産地、他の作物へと、支援の幅を広げていく足がかりをつくることができた。



認定NPO法人 UAPACAA国際保全パートナーズ

〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄1461-136 ファミール葉山202号室
Email: communi@uapacaa.org HP: https://www.uapacaa.org



実施プロジェクト名 インターンシップを活用した自然保護分野における国際協力人材育成と組織基盤強化

対象国 コンゴ民主共和国

プロジェクト概要

途上国において生物多様性保全と持続可能な開発を推進する、自然科学的素養を持った実務家を育て、同時にプロジェクト広報と資金調達にも貢献することで組織が安定する

プロジェクト内容と成果

クラウドファンディングによる資金調達と助成金獲得が、安定した財政基盤の両輪となるよう、本事業による広報インターン確保によって、当法人の広報発信力と資金調達力の強化を目指した。
・2年目は寄附目標額600万円に対して1200万円を調達できたので、インターンシップ必要経費が確保できた。特にカメルーン・ロベケ国立公園保全プロジェクトのインターン志望者が増えている。
・JFGE「ひろげる助成」にDRCのボノボ保護プロジェクトで採択され、「JICS NGO支援」3年目の助成と合わせ、DRCのフィールドでのインターンシップの展開も可能になった。

SDGsに向けての今後の活動

1年目に続き、現場を知るアシスタントとSNS発信に長けたアシスタントがタグを組み、クラファン（直接寄附）の広報を盛り立てる流れができた。さらに若い獣医師や芸大生、ボノボ研究者などの多様な人材の参加も見込まれ、発信の多角化が期待されている。1年目のアシスタントとプロボノも、スケールアップした現場活動への参画を促していく。特にDRCのプロジェクトでは、ボノボ保護エコツアー復興に加えて、持続可能なコミュニティ開発のための付加価値の高い地場産業づくりを目指すので、彼らの専門性が活かせる場を提供することができる。



特定非営利活動法人 ソルト・パヤタス

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-24-4 井川ビル2F
Email: contact@saltpayatas.com HP: https://saltpayatas.com/



実施プロジェクト名 フィリピンの貧困地域における男性への経済リテラシーと性に関する教育支援

対象国 フィリピン共和国

プロジェクト概要

男性に対して性に関する知識と経済リテラシーを身につけるワークショップを提供し、自身の収入や家計に見合った家族計画を遂行することができるようになる事を目指す。

プロジェクト内容と成果

フィリピン・ケソン市パヤタス地区の子どもがいる男性20人を対象に、合計6回のワークショップを実施。6回のワークショップのうち、前半の3回で経済リテラシー後半の3回で性と生殖に関する健康と権利を学べるようにテーマを設定した。途中で「仕事のシフト」「転居」「文字が読めない」等の理由でドロップアウトする参加者もいたが、男性に対しても性教育が受け入れられることが本事業を通じて分かった。また、経済リテラシーに関しては実施前と後で参加者のテスト結果の向上が統計的に証明できた。

SDGsに向けての今後の活動

私たちが本活動を通じて実現したいのは、コミュニティの男性たちが「性に関する知識」と「経済的リテラシー」の2つの知識を身につけた上で、自身の経済状況に合った家族計画が遂行できるようになることである。今後は本活動をコミュニティの学校と連携をして、青少年（中学生・高校生）を対象に実施をしていく予定である。より若いうちから正しい知識を得るための機会を提供することにより、早期妊娠による退学などのリスクを減らし、経済的貧困の連鎖を断ち切っていきたい。



特定非営利活動法人 World Theater Project

〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目12番4号N&E BLD.6F
Email: info@worldtheater-pj.net HP: https://worldtheater-pj.net/



実施プロジェクト名 途上国の子供達への映画配達事業拡大に向けた国内組織強化事業

対象国 カンボジア王国

プロジェクト概要

映画配達事業の継続および拡大に向けた国内の体制強化に向け、事務局メンバーの有給配置、助成金や個人・法人寄付の獲得活動、会計の効率化や会員へのケア対応などの事務局活動を充実させる。

プロジェクト内容と成果

助成を受け有給スタッフ2名を配置できたことで事務局の基盤が整い、カンボジアでの移動映画館の活動により力を入れられるように。カンボジアではシェムリアップ州とバタンバン州で月16回程度（鑑賞者1回平均50名）の上映が可能に。普段映画を観る機会のない農村部の子ども達に映画が届いています。ディズニー作品を上映する許諾を得て『バズ・ライトイヤー』『私ときどきレッサーパンダ』『ストレンジ・ワールド もうひとつの世界』を上映。また同じく許諾を得て上映したチャップリンの『街の灯』の星空上映会では、大人たちも大笑い。また、映画を観た効果を測定することもできました。

SDGsに向けての今後の活動

新型コロナウイルスの影響で一時停止していたカンボジアの移動映画館が軌道に乗ってきたので、他の途上国での上映にも再び踏み出し始めました。各国の現地と縁のある個人団体の方々と連携し、弊団体が機材や上映作品を貸与し、ワークショップをともに考えるなどの仕組みを作っている最中です。現在はザンビアの孤児院での上映が決まっております。各国のパートナーの皆さまと共に映画を知らない子ども達に映画を届けることで、SDGs達成に向けての一助になると信じ、活動を続けてまいります。



特定非営利活動法人 Piece of Syria

〒558-0033 大阪府大阪市住吉区清水丘1-15-23
Email: contact@piece-of-syria.org HP: https://piece-of-syria.org/



実施プロジェクト名 シリアの平和を担う教育支援のためのファンドレイジング強化プロジェクト

対象国 シリア・アラブ共和国

プロジェクト概要

持続的な支援が実施できる安定した財源確保のため、ファンドレイジングスタッフの能力強化と、潜在・顕在支援者とのコミュニケーションを改善するための戦略策定を行う。

プロジェクト内容と成果

1年間、ファンドレイジング専門家に伴走していただき、スタッフの能力を最大限に活かしてファンドレイジングを強化する戦略を策定しました。定例のミーティングに参加していただき、アドバイスや相談に乗っていただいた結果、これまで理事長に集中していたファンドレイジング業務がスタッフに移管され、常にPDCAサイクルが行われているような状況を作り出すことが出来ました。また、継続寄付会員募集のためのWebページも委託制作を行い、制作会社と何度もミーティングを重ねながら、団体の思いが形となった特設ページが完成しました。

SDGsに向けての今後の活動

スタッフのファンドレイジング能力が向上した組織体制をもって、Webページを効果的に活用し、安定した寄付の獲得に取り組んでいます。2024年4月末から6月末にかけて、継続寄付会員募集強化キャンペーンを実施しています。安定した寄付財源の獲得によって、当会が実施する教育事業の受益者数を約400名から、2025年までに2000名に増やすことを目指しています。戦争によって教育を受けられない世代を生まないことで、シリアの復興を担う人材を育成します。また、平和について考えるきっかけを提供する啓発活動にも注力していきます。



特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会

〒259-1314 秦野市若松町1-21
Email: -mail mint_assist@yahoo.co.jp URL https://www.mint-assist.com/



実施プロジェクト名 イラン・キャラジ市のバリアフリーまちづくり支援事業

対象国 イラン・イスラム共和国

プロジェクト概要

【事業1】市内のベヘシティ通りのバリアフリー（BF）整備に連動し、沿道施設のBF改善や協道の商店街のBF整備に係る市の取組み支援。
【事業2】小学生以上を対象とした「障害理解／BF普及講座」のプログラムとテキストの作成支援。

プロジェクト内容と成果

【事業1】キャラジ市役所の道路部門等職員を対象に、3日間の「BF研修」を障害当事者をアドバイザーとして実施、39名が参加。
第1日：BF整備レクチャー
第2日：ベヘシティ通りのバリアとBF整備後体験
第3日：BF改善検討と発表。その後道路の施工を行う工事業者にもBF整備に係る研修を実施した。
【事業2】障害当事者が日常体験しているエピソードをお互いに出し合い、障害に対する理解や、どのような対応が必要か意見交換を行った。出されたエピソードをもとにその内容から6つの「寸劇」シナリオを作成、子どもたちの前で寸劇を実演。このプロセスで合理的配慮への興味と理解が深まった。

SDGsに向けての今後の活動

SDGs10・11
イラン、キャラジ市に住む障害のある人も、障害のない人と平等に、外出し移動でき、目的の建物に入り、社会的な活動に参加できることを目指し、JICAの草の根技術協力事業で外出支援に取り組む予定。



一般財団法人 アフリカ野球・ソフト振興機構(J-ABS)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-3-13
Email: info@j-absf.org HP: <https://www.j-absf.org/>



実施プロジェクト名

アフリカ55甲子園プロジェクト・タンザニア事業

対象国

タンザニア連合共和国

プロジェクト概要

- ①競技環境の整備
- ②人づくり野球教育の教育方法の普及
- ③全国大会の開催支援

プロジェクト内容と成果

J-ABSはタンザニア野球・ソフトボール連盟(TaBSA)と協力し第11回タンザニア甲子園大会を開催しました。それに向けて、野球・ソフトボールの指導者向けに、「ベースボールシップ®教育セミナー」を開催し、野球を通じた人材育成、具体的にはスポーツマンシップや「規律」「尊重」「正義」といった価値を育む指導方法を伝授しました。また大会運営能力の強化の一環で、審判・スコアラークリニックの開催も行いました。
活動内容と活動成果の参考映像がJ-ABSチャンネルでご覧になれます。
<https://www.j-absf.org>

SDGsに向けての今後の活動

J-ABSは、主軸事業「アフリカ55甲子園プロジェクト」をアフリカ各国の野球連盟を協定を締結し、アフリカ各国で野球を通じた人材育成に貢献することを目的に、アフリカの学校でベースボールシップ®教育を普及する活動を展開しています。これはSDGsの1, 3, 4, 5, 10, 16, 17に貢献する事業であり、タンザニアは最初に同プロジェクトを開始した国として、JICSのご支援をいただき、アフリカの先行事例として実績を作ることができました。今後は、この成果を他のアフリカの国々に広げていく計画です。

